



平成20年12月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年10月22日

上場会社名 株式会社 レッグス 上場取引所 JQ
 コード番号 4286 URL <http://www.legs.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内川 淳一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員マネジメント部長 (氏名) 中矢 猛 TEL (03) 3408-3090

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年12月期第3四半期の連結業績 (平成20年1月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年12月期第3四半期	5,496	0.1	139	△65.1	134	△66.4	55	△57.2
19年12月期第3四半期	5,489	1.5	397	6.7	399	6.6	128	—
19年12月期	7,771	—	551	—	548	—	192	—

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年12月期第3四半期	2,156 78	2,144 04
19年12月期第3四半期	4,929 17	4,883 40
19年12月期	7,377 78	7,311 04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年12月期第3四半期	3,369	2,469	73.1	97,228 89
19年12月期第3四半期	3,481	2,445	70.2	93,706 12
19年12月期	3,469	2,488	71.7	96,209 13

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
19年12月期	— —	1,500 00	1,500 00
20年12月期(実績)	— —	— —	1,700 00
20年12月期(予想)	— —	1,700 00	— —

3. 平成20年12月期の連結業績予想 (平成20年1月1日～平成20年12月31日)

【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	8,700	12.0	402	△26.9	401	△26.8	211	10.2	8,197	57

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

〔（注）詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ「【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、米国発の金融危機が日本の景気の後退色をより一層強め、大企業製造業の業況判断指数（D I）や、日銀が10月1日に発表した9月の企業短期経済観測調査（短観）においても、5年3ヶ月ぶりにマイナスに転じ、設備や雇用にも過剰感が広がりつつあります。これまで懸念であった原材料高にはようやく一服感が出たものの、個人消費の冷え込み等により内需も未だ回復の見通しが立たない状況にあります。

当社グループが属する広告・販促業界においても、これらの景況感の悪化を反映し、企業が宣伝広告費を抑制する動き等があり、テレビ、新聞をはじめとするマス媒体等の広告予算は、依然厳しい状況が続いております。マス媒体以外の、いわゆるプロモーションメディア等の販促予算についても、ネット広告や屋外広告等は好調なものの、全体の落ち込みを補うまでには至っておりません。当期も後半に向けては、「北京五輪」等の大きなイベントもなく、広告販促需要の先行きは依然厳しい状況にあります。

このような状況下、当社グループでは、中期経営計画において策定した市場戦略において、これまでの戦略市場である飲料・食品・流通及び通信業界を中心とする既存顧客の深堀りに加え、新たな業界での新規顧客開拓と、昨今の顧客の販促ニーズの変化に対応した電子POP等の新規商材提供等により、戦略市場及び提供サービスの幅をひとつひとつ広げるべく積極的な事業展開をしております。

当第3四半期における当社グループの経営成績に関して、7－9月の前年同期比では、売上高については、飲料顧客、流通顧客向け及びOEM顧客向け等が好調だったことにより、前年同期を上回りましたが、営業利益については、大手広告代理店向け等の売上総利益率の低下と、人員増に伴う人件費と販売費及び一般管理費の増加により、前年同期比で減少しております。1－9月の前年同期比では、売上高については、飲料顧客向けの大幅な落ち込みがあったものの、流通顧客向け及びOEM顧客向け等が好調だったことにより、前年同期を上回りましたが、営業利益については、飲料顧客向け及び食品顧客向け等の売上総利益率の低下と、人員増に伴う人件費と販売費及び一般管理費の増加により、前年同期比で減少しております。

これらの結果、当第3四半期の売上高は54億96百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益1億39百万円（同65.1%減）、経常利益1億34百万円（同66.4%減）、四半期純利益55百万円（同57.2%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期の総資産は、前連結会計年度末と比較して1億円減少して33億69百万円となりました。

流動資産につきましては、おもにたな卸資産が2億40百万円、その他の流動資産が1億40百万円増加したものの、現金及び預金が3億75百万円、受取手形及び売掛金が1億27百万円減少し、結果、前連結会計年度末に比較して1億22百万円減少しております。

固定資産につきましては、有形固定資産が6百万円減少したものの、おもに、無形固定資産が2百万円、投資有価証券が14百万円、投資その他の資産の「その他」が14百万円増加したこと等によ

り、前連結会計年度末に比較して22百万円増加しております。

負債につきましては、流動負債において買掛金が1億30百万円増加したものの、おもにその他流動負債が2億21百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比較して81百万円減少しております。

純資産につきましては、四半期純利益が55百万円となったものの、自己株式の取得により41百万円、その他剰余金の配当等により、前連結会計年度末に比較して19百万円減少しております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループ連結業績の通期の見通しについては、景況感の悪化の影響等による広告・販促業界の見通しに対する厳しさが増しつつあり、当社の事業環境についても先行きの不透明感が強まってきておりますが、現時点での足元の案件の引合状況は、比較的順調であることから、通期の連結および単体の業績予想について特に変更はいたしません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準及びその他一部に簡便的な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表
 (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期末 〔平成19年12月期〕 第3四半期末	当四半期末 〔平成20年12月期〕 第3四半期末	増 減		(参考) 前期末 (平成19年12月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	1,363,072	823,116	△539,956	△39.6	1,198,528
2. 受取手形及び売掛金	1,249,241	1,471,600	222,359	17.8	1,599,325
3. たな卸資産	329,149	350,296	21,147	6.4	110,243
4. その他	63,920	186,887	122,966	192.4	46,347
貸倒引当金	△3,718	△1,874	1,844	△49.6	△1,836
流動資産合計	3,001,665	2,830,026	△171,639	△5.7	2,952,606
II 固定資産					
1. 有形固定資産	29,921	41,890	11,968	40.0	47,895
2. 無形固定資産	18,974	19,100	125	0.7	16,433
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	200,914	201,436	522	0.3	186,870
(2) その他	282,200	329,379	47,178	16.7	315,274
貸倒引当金	△51,858	△52,464	△606	1.2	△49,170
投資その他の資産合計	431,256	478,351	47,094	10.9	452,974
固定資産合計	480,153	539,342	59,189	12.3	517,303
資産合計	3,481,818	3,369,368	△112,450	△3.2	3,469,910

（単位：千円、％）

科 目	前年同四半期末 〔平成19年12月期〕 第3四半期末	当四半期末 〔平成20年12月期〕 第3四半期末	増 減		（参考）前期末 （平成19年12月期末）
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
（負債の部）					
I 流動負債					
1. 買掛金	476,102	472,902	△3,200	△0.7	342,183
2. その他	286,917	139,970	△146,946	△51.2	361,941
流動負債合計	763,020	612,873	△150,147	△19.7	704,124
II 固定負債					
1. 長期未払金	208,143	221,720	13,576	6.5	208,143
2. 退職給付引当金	65,280	65,215	△64	△0.1	68,663
固定負債合計	273,424	286,936	13,512	4.9	276,807
負債合計	1,036,444	899,809	△136,634	△13.2	980,932
（純資産の部）					
I 株主資本					
1. 資本金	220,562	220,562	—	—	220,562
2. 資本剰余金	267,987	267,987	—	—	267,987
3. 利益剰余金	2,022,929	2,102,832	79,903	3.9	2,086,429
4. 自己株式	△55,309	△128,564	△73,255	132.4	△87,055
株主資本合計	2,456,170	2,462,818	6,648	0.3	2,487,924
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金	△12,220	572	12,793	—	△1,014
評価・換算差額等合計	△12,220	572	12,793	—	△1,014
III 新株予約権	282	5,300	5,018	—	1,128
IV 少数株主持分	1,143	867	△275	△24.1	940
純資産合計	2,445,374	2,469,559	24,184	1.0	2,488,978
負債、純資産合計	3,481,818	3,369,368	△112,450	△3.2	3,469,910

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期 〔平成19年12月期 第3四半期〕	当四半期 〔平成20年12月期 第3四半期〕	増 減		(参考) 前期 (平成19年12月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	5,489,147	5,496,326	7,178	0.1	7,771,190
II 売上原価	4,242,468	4,440,340	197,871	4.7	6,045,766
売上総利益	1,246,678	1,055,985	△190,693	△15.3	1,725,424
III 販売費及び一般管理費	848,899	916,966	68,067	8.0	1,174,321
営業利益	397,779	139,018	△258,760	△65.1	551,102
IV 営業外収益	8,593	5,119	△3,473	△40.4	10,656
V 営業外費用	6,513	9,956	3,443	52.9	13,316
経常利益	399,859	134,181	△265,677	△66.4	548,441
VI 特別利益	3,898	—	△3,898	△100.0	8,468
VII 特別損失	769	2,793	2,024	263.0	32,192
税金等調整前四半期(当期) 純利益	402,988	131,387	△271,600	△67.4	524,717
法人税、住民税及び事業税	207,635	72,217	△135,417	△65.2	270,180
法人税等調整額	66,435	4,066	△62,368	△93.9	62,322
少数株主利益または少数株主 損失(△)	79	△72	△152	—	△123
四半期(当期)純利益	128,838	55,176	△73,661	△57.2	192,338

6. その他の情報

平成20年9月24日に「特定子会社の異動に関するお知らせ」として開示いたしました、中華人民共和国上海市に特定子会社を設立する件に関しましては、平成20年10月14日に営業許可証が発行され、同日をもって設立いたしました。